

(3) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

薬品・・・最終仕入原価法による原価法

診療材料・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 引当金の経常基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当該事業年度に対応する見積額を計上している。

退職給付引当金

職員に対する退職手当の支給に充てるため、自己都合による期末要支給額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が貸主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	12,614,900	4,335,000	0	16,949,900
小 計	12,614,900	4,335,000	0	16,949,900
合 計	22,614,900	4,335,000	0	26,949,900

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
小 計	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	16,949,900	—	(0)	(16,949,900)
小 計	16,949,900	(0)	(0)	(16,949,900)
合 計	26,949,900	(10,000,000)	(0)	(16,949,900)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

単位：円

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
寄付金	仙台市	10,000,000	0	0	10,000,000	指定正味財産 流動資産
合 計		10,000,000	0	0	10,000,000	